

下館ロータリークラブ会報

Rotary International District 2820



マーク・ダニエル・マローニー国際RI会長



本日のプログラム

外部卓話 関 博子 様
(ロータリーカードコーディネーター)

次週のプログラム

外部卓話 小貫隆嗣 様 (結城RC)
ロータリー情報意見交換会

発行日：令和元年 11 月 13 日 第 02527 号



会長／岩崎 晴男 副会長／永盛 武 幹事／神山 芳子 会長エレクト／神山 芳子

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp

ダブルダイヤモンド筑波



前例会報告 第2898回 2019/11/6(水)

お客様 ようこそ下館RCへ

齊藤 章様 (地区財団委員・結城RC)

会長挨拶 岩崎晴男会長

財団月間にあたり、第2820地区財団委員の齊藤様に本日の卓話をお願いしております。改めて財団について理解を深めたいと思います。

会長ノミニーが理事会で承認されました。潮田さんに決定し、次年度のリーダーを努めて頂きます。

下館さくら衛星クラブの発足がほぼ確定し、仮例会を開催することになりますので、ロータリアンの参加もお願い致します。

12月4日はガバナー公式訪問ですので、全員出席をお願い致します。

理事会報告 岩崎晴男会長

1. 12月4日ガバナー公式訪問スケジュールの件
2. 現況報告書の確認
3. 1月・2月のプログラムについて
4. 3RC合同新年会について
5. 次年度地区委員選出の件
6. 会長ノミニー選出の件 潮田会員
7. 神山年度役員・理事の件

幹事報告 岩崎晴男会長

- 下館RC60周年記念事業の進捗について
- 下館さくら衛星RC 進捗について
- 11月ロータリーレート 1ド=108円
- ロータリー100周年WEBアンケート

卓話 齊藤 章 地区財団委員

ロータリー財団は1917年のアーチ .C.クラウンの提唱により創設されました。我々ロータリアンが社会に奉仕するための財源を我々自身の手で集めるためです。そしてロータリー財団の標語「世界で良いことをしよう」を実践するために、ロータリー財団には集めた資金を利用するための2つの代表的な補助金があります。

一つは地区補助金(DG)、もう一つはグローバル補助金(GG)です。DGはクラブの皆様で比較的自由に使える補助金です。ロータリーには6つの重点支援分野(疾病予防と治療、母子の健康、水と衛生、平和構築と紛争予防、地域社会の経済発展、基本的教育と識字率向上)がありますが、地区補助金はこの重点分野に制約されずに使えます。2820地区の地区補助金参加率は全国トップクラスです。

一方、GGは国際的で大規模なプロジェクトに利用できる補助金で、重点分野に関連する内容である必要があります。GGはVTT(職業研修チーム)、奨学金にも利用されます。GGも当地区では積極的に利用されています。「我々が拠出した寄付金を我々の手で奉仕に役立てる」当地区はこれを実践していると言えます。

GGは保健分野に多く利用されています。国連データによれば、保健や教育の水準が1人当たりGDPと高い相関関係にあることが証明されています。すなわち保健や教育の向上がひいては経済的な豊かさにつながるということです。またGGが紛争解決に目覚ましい貢献をした例もあります。元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんや現在国連・軍縮担当事務次長の中満泉さんは、GG奨学金を利用して学んでいます。この2人はボスニアヘルツェゴビナの和平に大



きな尽力をしています。なお、当地区にはGGの奨学金の他、新井義三・喜美子奨学金基金という冠名基金があります。これは6つの重点分野に限定しない奨学金で、現在7万ドル程度が利用可能です。



平和分野ではロータリー平和フェロシッププログラムという人材育成プログラムもあります。平和と紛争解決に国際的に活躍する人材を育てることに、R財団は貢献しています。

ロータリー財団のもう一つの重要なプログラムとして「ポリオプラス」があります。1980年にロータリーが初めて提唱してから38年。当時はほぼ全世界に蔓延していたポリオが、現在の発生は2か国のみとなっており、撲滅まであと少しです。疾病の撲滅により保健の予算が別のものに振り向けられれば、家庭・地域社会・国家経済はより強固になり発展していくことが可能になります。ポリオプラスは重要なプログラムなのです。

このように世界で良いことをするために役立っている我々の財団資金ですが、利用するには一定の手続きが必要です。皆様が身近で利用して下さっているDGは、申請年度と実施年度の2年ががりのプロジェクトになります。地区で一括して申請や報告を行いますので、各クラブの足並みが揃うよう、申請から報告までの期限をしっかりと守ってクラブ一体となってプロジェクトを実施していただきたいと思います。

グローバル補助金は昨年度から事前調査が義務付けられています。国際奉仕委員会と十分に調整の上、ご利用いただきたいと思います。

さて、我々の拠出する寄付金は、財団にてしっかりと運用されたのち、3年後に我々の手で使える資金として戻ってきます。ちなみに3年前

に当地区で集まった30万4千ドルの年次寄付金は、本年度35万ドル以上の利用可能額となっています。

当年度の目標寄付額は会員一人当たり・年次寄付130ドル以上、ポリオ20ドル以上、合計150ドル以上となっています。確実に世界で良いことに繋がっているロータリー財団の寄付とプログラムに、是非参加してください。

地域社会の経済発展

地元の商店街を元気に

シャッター通りにコミュニティースペース開設

若松RC 小山 洋明

寂しくなってしまった商店街をなんとかしたい

子どもの頃、週末になると祭りの縁日のようににぎわっていた商店街へ、家族や友人と出掛けることを楽しみにしていた経験はありませんか？今ではその商店街も、シャッターの方が目立つようになっていくところも少なくありません。地域のコミュニケーションと買い物の場を提供してきた商店街の機能に変化が必要、と私は感じました。

クラブでシャッターを開くプロジェクト始動

そこで、私はシャッター通り商店街を再びにぎわせたいと思いました。さらに、物を売るというだけでなく、高齢者の生活を支援し、コミュニティの再構築ができる場にならないか。世代を超えた交流ができる仕掛けがあり、次世代育成を考えた子育て世代の支援ができないか。

古民家リノベーションに取り組み、明治町銀天街の近隣で居酒屋を営んでいた私が、企画を練り、若松RCや協同組合若松商連に提案したところ、商連が所有する店舗を1年間無料で貸してもらえることになりました。若松RCが開業資金の3分の1に当たる約120万円を出資し、商店街の他の店と競合しないうどんをメインとした食堂「食〇うどん」を2019年3月、開店させました。



コミュニティスペースを設置

若松RCでは、このコミュニティスペースを利用して、さまざまな年代をターゲットとしたイベントを行っています。地元で注目されつつあるウクレレ奏者と呼んでのウクレレイベント、地元の活性化を目指す各団体の人々を招いた情報共有「ワカモノ・ヨソモノ・バカモノぶっちゃけトークイベントー今このまちがやることー」、子育て中の家族を対象とした、食のお手伝いイベントや親子食事会など、世代を超えた交流の機会を増やしています。

加えて、店舗が元靴屋だったこともあり、フットケアトレーナーを招いて高齢者や子ども向けに足と靴についてのセミナーを数回開催していますが、これには若松RCが提唱する若松高校インターアクトクラブ(IAC)の生徒たちも手伝いに来てくれています。このうどん店兼コミュニティスペースを目当てに人々が商店街へ立ち寄る機会を増やしたいと考えています。

地域を良くしていこうとする当事者意識

まだまだ運営には苦労していますが、店舗の開業時期の前後に、近隣に有名スイーツ店、生活支援事業所、ハンドメイドによる高付加価値のある靴店などが開店し、新しいビジネスが生まれています。今後は、このスペースを含めたいろいろな場所や他の空き店舗などを使って、地元企業や自治体、近隣の大学、地元住民と連携して、高等教育のサテライト教室を開業し、シビックプライド(都市に対する市民の誇り)が高められるような学びの場を提供しようと考えています。地域に活気を取り戻す、地元の人々の高い当事者意識こそが、まちづくりの原点だと感じています。(ロータリー友より)

スマイルBOX 神長宏寿委員長

- ▶岩崎 晴男さん 結城ロータリークラブ 齊藤さん、卓話宜しくお願い致します。
- ▶神山 芳子さん 本日、結城RCにて卓話を実施して参ります。

- ▶永井 啓一さん ロータリー財団 齊藤様、宜しくお願いします。ロータリー財団月間です。寄付宜しくお願いします。
- ▶新井 和雄さん 齊藤さんの卓話を記念して。
- ▶関谷 徹さん 結城RC 齊藤様、卓話宜しくお願いします。
今月もニューモラルを配布させていただきます。
- ▶加藤 昌美さん 結城RC 齊藤章様、ようこそお出で下さいました。卓話宜しくお願いします。
- ▶小林 一彦さん 結城RC 齊藤様、卓話宜しくお願い致します。
- ▶新井 利平さん 結城RC 齊藤章様、卓話ご苦労様です。
- ▶鈴木 健一さん 結城ロータリークラブ 齊藤様、卓話宜しくお願いします。
- ▶潮田 武彦さん 結城RC ロータリー財団 齊藤様、本日の卓話宜しくお願いします。
- ▶内山 勝洋さん 結城RC 齊藤様、本日の卓話宜しくお願い致します。
- ▶葉 章二さん 結城RC、地区財団委員 齊藤様、本日の卓話宜しくお願い致します。
- ▶箕川 達也さん 齊藤様の卓話、楽しみです。
- ▶薄井 章一さん 齊藤様、卓話宜しくお願い致します。
- ▶神長 宏寿さん 結城ロータリークラブ地区財団委員 齊藤様、卓話楽しみです。

本日の合計 39,000円 累計 370,000円

出席報告 内山勝洋副委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
31	18	8	2	3

■メイクアップ(敬称略)

- 10月29日 しもだて紫水RC そば会
岩崎晴男・神山芳子・早瀬浩一
- 11月5日 八郷RC例会 神山芳子
- 11月6日 結城RC例会 神山芳子



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。